



2026年7月24日
三井住友DSアセットマネジメント
チーフマーケットストラテジスト 市川 雅浩

市川レポート

日経平均株価の立ち位置をテクニカル分析で確認する

- フィボナッチ・リトレースメントを用いて日経平均の下値をみた場合、61,695円32銭などが目途に。
- 仮に今月中に61,695円32銭まで下げれば、一目均衡表で強い売りシグナルが点灯する恐れも。
- 短期的に一段安のリスクもあるが、反発の余地も残る、目先は一目均衡表の先行スパン1に注目。

フィボナッチ・リトレースメントを用いて日経平均の下値をみた場合、61,695円32銭などが目途に

日経平均株価は6月22日に取引時間中の過去最高値となる72,831円73銭をつけて以降、やや調整気味の動きが続いています。そこで今回のレポートでは、テクニカル分析で日経平均の現在の立ち位置を確認します。最初の分析は、株価が反落（反転）した際、その反落（反転）した株価がどこまで進むかをみる上でよく用いられる「フィボナッチ・リトレースメント」です。

フィボナッチ・リトレースメントで目安となるのが、安値（高値）から高値（安値）までの上げ幅（下げ幅）に対し、23.6%、38.2%、50.0%、61.8%、76.4%押しした（戻した）水準です。今回の日経平均について、3月31日の取引時間中につけた年初来安値50,558円91銭から前述の72,831円73銭までの上げ幅をベースに考えた場合、50%押しの61,695円32銭などが下値の目途と解釈されます（図表1）。

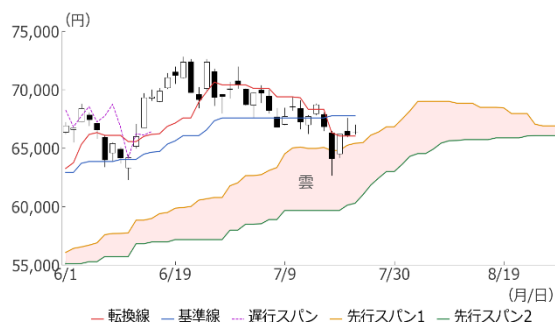
【図表1：日経平均株価のフィボナッチ・リトレースメント】

2026年6月22日高値	72,831円73銭
23.6%押し	67,575円34銭
38.2%押し	64,323円51銭
50.0%押し	61,695円32銭
61.8%押し	59,067円13銭
76.4%押し	55,815円30銭
2026年3月31日安値	50,558円91銭

（注） 高値と安値は取引時間中の値。フィボナッチ・リトレースメントは相場が反落（反転）した場合、それまでの安値（高値）から高値（安値）までの上げ幅（下げ幅）から23.6%、38.2%、50.0%、61.8%、76.4%押しした（戻した）水準が押し（戻り）の目安と考える。

（出所） Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：日経平均株価の一目均衡表】



（注） データは日足で2026年6月1日から7月23日。先行スパン1と先行スパン2は2026年8月27日まで。先行スパン1と2に囲まれた価格帯を雲という。

（出所） Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



三井住友DSアセットマネジメント

仮に今月中に61,695円32銭まで下げれば、一目均衡表で強い売りシグナルが点灯する恐れも

次に、「一目均衡表」を使って日経平均のトレンドを確認します。日経平均の日足の一目均衡表は図表2の通りで、注目点は、①日足と雲（先行スパン1と2に囲まれた価格帯）の位置、②転換線と基準線の位置、そして③遅行スパンと日足の位置です。日足が雲の下に位置し、かつ、転換線が基準線を下抜け、さらに、遅行スパンが26日前の日足を割り込んでいる場合、一目均衡表ではこれを「三役逆転」といい、強い売りシグナルと解釈されます。

図表2をみると、②転換線は基準線を下抜け、③遅行スパンも26日前の日足を割り込んでいるものの、①日足は雲の上に位置しており、まだ三役逆転は形成されていません。ただ、先行スパン2（雲の下限）の水準が切り上がってきており（7月31日は64,297円39銭水準）、仮に日経平均が7月中に前述の50%押し水準に達すれば、日足が雲を下抜けて三役逆転が形成され、強い売りシグナルが点灯する恐れがあります。

短期的に一段安のリスクもあるが、反発の余地も残る、目先は一目均衡表の先行スパン1に注目

なお、一目均衡表の先行スパン1（雲の上限）や先行スパン2は、下値支持線になることも多いことから、先行スパン2と同じく水準の切り上がってきている先行スパン1が、日経平均を支える展開も十分考えられます。この流れとなれば、日経平均はフィボナッチ・リトレースメントの50%押し水準への到達には至らず、一目均衡表における三役逆転の形成も回避されることになります。

このように、日経平均は短期的に一段安のリスクを抱えつつも、切り返して上昇する可能性も残っており、目先は一目均衡表の先行スパン1に支えられるか否かが注目されます。先行スパン1が位置する水準は、本日が66,106円29銭、7月31日は68,182円26銭、8月4日から7日は68,999円20銭となっており、日経平均をみる上では、これらの水準が当面のポイントになると思われます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会